



## プレキャスト部材による道路防災施設の 急速施工 スノーシェッド,スノーシェルター

Construction of Snowsheds Using Precast Elements  
Snowshed, Snowshelter

川田建設(株)・プレキャスト事業部

### 1. まえがき

自動車交通の飛躍的な発達はわれわれの生活における活動範囲を大きく変化させた。その結果、道路はこれまで考えられなかった地域にも伸びることとなり、それに伴って利用者の安全を守るために防災施設の建設も急ぎ進められている。

一方、建設業全体の深刻な問題として、技能労働者の不足や高齢化があり、これが急がれる防災施設などの建設のネックとなっている。

この問題を解決するための有力な方法の一つとして、プレキャスト部材の活用が盛んに進められている。川田建設においてもこれら防災施設のプレキャスト化の研究を進めているが、このたび実施の機会を得たので、施設の説明を兼ねて紹介したい。

### 2. スノーシェッド

スノーシェッドは、雪崩が発生するような地形の道路上に設置され、雪崩を流れ屋根面を通して滑走させて、谷側に誘導することで路面を走行する車両などの安全を確保するものである。

ここで紹介するスノーシェッドは、栃木県黒磯市板室地区に設置されたものである（写真-1）。

この地域は、那珂川沿いに発生する強風により吹き上げられた降雪が再び急傾斜面に積もるため、雪崩発生の危険性の高い地帯とされている区間である。このため早急な雪崩対策が必要とされていた。図-1に断面図を示す。

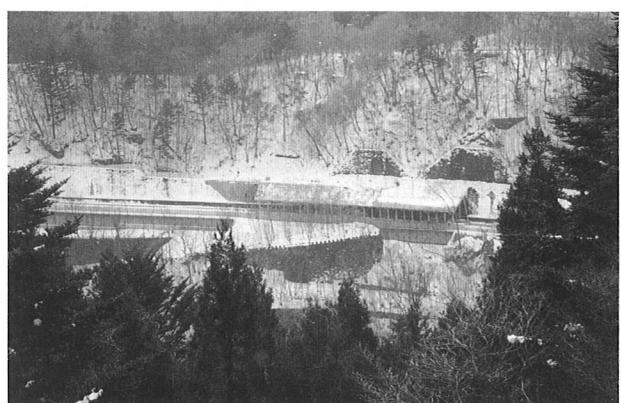


写真-1 スノーシェッド完成写真

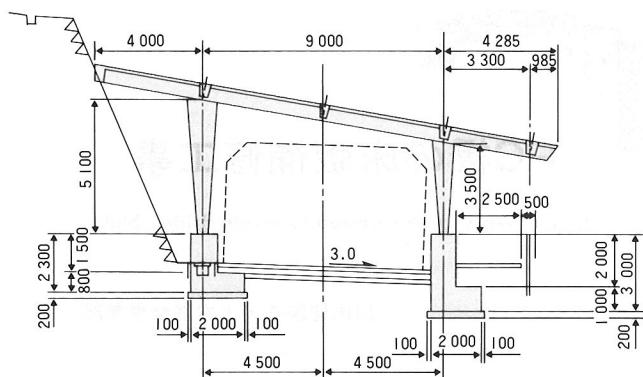


図-1 スノーシェッド断面図

### 3. スノーシェルター

スノーシェルターは、積雪地帯における雪の吹き溜まりや、地吹雪から道路交通を確保する構造物として設置されるものである。

ここに紹介するスノーシェルターは、栃木県那須郡塩原町で施工されたものである。設置箇所は、左右がブロック積みされた堀割断面であることから、冬期間に吹き溜まりになり、このため車線減少や路面凍結が生じていた。

構造形式は3ヒンジPCアーチ型スノーシェルターで、基礎工は直接基礎による重力式受台となっている。



写真-2 スノーシェルター施工状況

### 4. あとがき

ここに紹介したプレキャスト防災施設はほんの一例であるが、その他にも土砂崩れから道路を守るロックシェッドや高波から海岸線付近の生活の安全を守る消波ブロックなど数多くある。

われわれの安全な生活活動を支えるこれら防災施設は何はさておいても第一に建設されなければならない施設であり、そのためにも構造の標準化や示方書の整備などを進め、経済性を追求するとともに急速施工のためのプレキャスト化の継続的研究が必要と考えている。

(文責・得能達雄)